

## 絵入本ワークショップⅣの開催にあたって

実践女子大学文芸資料研究所長 横井 孝

世界各地の、そして日本の絵入本の情報をもとめて、第一回の「絵入本ワークショップ」が開催されたのは二〇〇四年七月八月、会場は仙台市博物館ホールでのことでした。以来、第二回を東京・渋谷の実践女子学園（二〇〇六年九月）、第三回を東京・立川市に新築されたばかりの国文学研究資料館（二〇〇八年六月）と、隔年ごとに会場をかえつつ、全国の、そして世界の研究者の方々にお集まりいただきながら、それぞれに大きな成果をあげてまいりました、特に第三回は、会場の国文学研究資料館との共催で国際シンポジウム「江戸の絵本・画譜」を開催したことなど、斯界において銘記される「事件」であったとの評価をいただいたりいたしました。

そして本年、こうして大和文華館において、新装なったばかりの初回のイベントとして、第四回めのワークショップを開催するはこびとなりました。第一回から第三回を主催した実践女子大学文芸資料研究所に加えて大和文華館・関西大学も加わることができたのは、学術的交流の場としての本「ワークショップ」の意義を高からしめるものとし

て、率直に慶びたいと思います。

ただ、主催者として、これまた率直に申し上げるならば、これまでの4回にわたるワークショップによって成果をあげながらも、具体的にひろく学会における再評価・検証のための素材を残すことが少なかったのではないかと、という反省があります。そこで今回は、資料集を単なる発表要旨だけを掲載するものにせず、のちのちにも資料として価値のあるものを作りたいと思い、発表者の方々に若干の労力と負担をお願いして、有益な影印を多数収めるべく努力いたしました。

さらに、保存に耐える内容の「資料集」としての意義を高からしめるため、末尾に実践女子大学文芸資料研究所の所蔵する稀観書『好色寢覚床』の影印（一部）を付載することといたしました。同書は全5巻中の3巻のみですが、土佐浄瑠璃との関係が深い新資料で、たいへん貴重なものと自負いたします。発表者の方々の提供して下さった資料とともに、本資料集がワークショップ当日のみで消費されるだけの、単なる「資料集」の域を脱したのではないかと考えます。今回のワークショップ当日をふくめ、今後永く資料として皆さまがたにご活用願いたく存じます。

かくして第四回を豪華な内容で開催することが可能になりましたが、このワークショップをさらに第五回、第六回……とつなげてゆくためにも、そしてなるべく近い将来には、書籍の形態での展開をも見越して、皆さまがたにご協力のように願う次第です。

〔二月四日（土）〕

開会の挨拶

大和文華館館長 浅野秀剛

研究発表

役者絵本としての『正本製』

実践女子大学 佐藤 悟

「双六将棋」と「役者目付絵」の遊び方

同朋大学 服部 仁

流光斎画の版元をめぐる諸問題―付・再発見『流光斎遺稿』との関わり―

阪急学園池田文庫 北川博子

耳鳥齋の絵本および肉筆画に見られる三つの時期

関西大学 中谷伸生

(二月五日(日))

研究発表

江戸版の考察を通してみる師宣風挿絵の展開

一橋大学 柏崎順子

遊女絵属性情報アーカイブシステムの構築と活用

慶應義塾大学 日比谷孟俊

抄録物合巻における「模倣」の内実―仮名垣魯文作『伊賀の仇討』を中心に―

東京大学(院) 神林尚子

奈良絵本・絵巻と版本

慶應義塾大学 石川 透

『絵本宝鑑』の作者について―橘宗重は『大友興廢記』の著者杉谷宗重であった―

関西大学 市川廣太

絵手本『公長画譜』の図様と画題

関西大学 柴田就平

『ガリヴァー旅行記』と『台湾誌』における視覚的語りと騙り

実践女子大学 島 高行

プロムホフ・フィツセル・シーボルトの絵入本コレクション

ライデン民族学博物館 マティ・フォラー